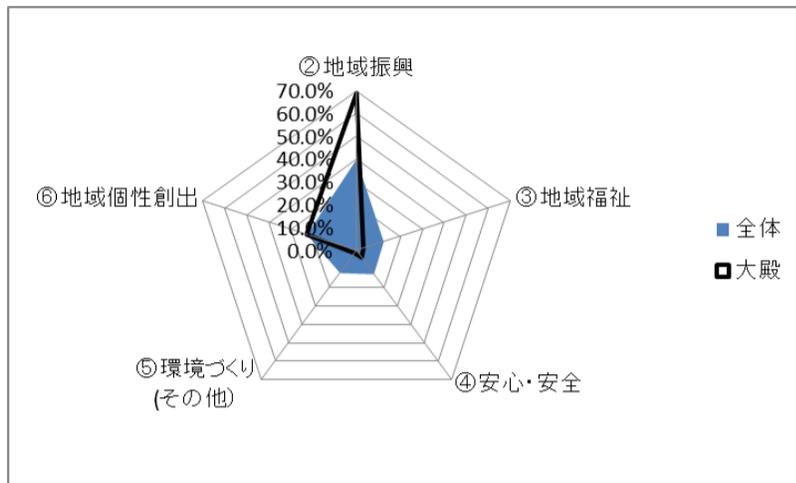


# おおどのコミュニティ協議会 地域づくり交付金事業概要(平成30年度)

## ■地域の情報

地域人口	7,372人	自治会数	29
世帯数	3,162世帯	自治会加入率	89.2%

※数値は、平成31年4月1日のもの



## ■決算状況

交付金配分枠	7,948,000 円
交付金決算額	7,919,875 円
その他収入	1,203,109 円
交付金決算額／配分額	99.6%

## 各分野の決算

①協議会運営	5,786,938 円
②地域振興	2,299,632 円
③地域福祉	104,337 円
④安心・安全	125,446 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	46,440 円
⑥地域個性創出	760,191 円
決算総額	9,122,984 円

## ■地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

## ■総括

第4期大殿地域づくり計画に沿った取り組みを始動した。基本理念に加筆した「働くところがあり」に込めた職業以外のいきがいややりがいがあるといった視点を大事にして、地域住民へ幅広い情報発信をしていきたい。専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、  
 ・専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、活動する。  
 ・運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。  
 今年度は、地域づくり計画に明記した「チーム大殿」構想に向けた取り組みについて意見交換を行い、共通認識をはかる第一歩を踏み出した。  
 今後は、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討し、併せて地域コーディネートの手法を模索していきたい。

## ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局人件費および事務費
② 地域振興	・地域情報の発信と広報活動 ・地域行事の活動支援 ・地域コミュニティ推進(つながり、次世代育成) ・助成金交付
③ 地域福祉	・三世代交流 ・健康教室 ・おおどのたすけあいのまちづくり体制整備の支援
④ 安心・安全	・大殿地区安心安全のつどい ・自主防災活動推進 ・地域見守り活動 ・反射鏡設置
⑤ 環境づくり	・環境整備
⑥ 地域個性創出	・伝統文化の保存継承 ・体育振興

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	①地域コミュニティ推進事業 ②地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	1,354,916円
	目的	①各町内会をはじめとした各種団体との連携強化、情報交換に努めるため。 ②新たな人材の巻き込みを図るため。また、地域間交流を通じて連携強化を進めるため。		
	実施内容	①町内会を中心とした関係団体との連携強化。活動拠点の充実。 ②協働のまちづくり10周年記念講演会、研修(庭木の学校)の開催。		
	実施時期	①通年②平成30年4月21日、6月24日、10月13日		
	参加人数	①500人 ②157人		
	成果	①「チーム大殿」構想に向けたグループワークなど、会議で話し合いの意識が醸成された ②記念講演会では「チーム大殿」構想に向けたパネルディスカッションを実施できた 庭木の学校では参加者の学習意欲やボランティア意識の把握ができた		
評価	①参画した実感のある会議運営の更なる工夫が必要。また、各団体の得意分野や困りごとなどを共有し、「チーム大殿」を意識した活動へつなぐ視点や仕掛けが必要。 ②10周年記念講演会は目標の集客には至らなかったが、「チーム大殿」の意識をもって地域を考える必要性や課題が明確になった。 研修は新たな参加者の巻き込みのため学校シリーズの見直し(メニューの検討)が必要。			
今後に向けて	①「チーム大殿」構想に向けて、各団体や住民をつなぐコーディネートの実現方法を模索する。 ②地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを行っていく。			
②	事業名	三世代交流事業	決算額	26,451円
	目的	三世代交流事業を通して、多世代の交流や関係団体との連携強化を図るため。		
	実施内容	三世代交流ウォーキングの見直し検討のための部会協議及び大殿ベタンク大会の開催		
	実施時期	平成30年8月21日、10月14日、11月21日、12月8日、平成31年1月17日		
	参加人数	70人		
	成果	三世代交流ウォーキングについて部会での意見交換及び、山大生発案の大内ボードゲームの体験会の実施など見直しに向けた検討ができた。 大殿ベタンク大会はテストマッチと大会当日に体育委員会の協力を得て運営できた。		
評価	大殿ベタンク大会は参加者やスタッフが楽しく交流できる場になってきている。次年度は体育委員会との共催事業としての位置づけなども期待したい。			
今後に向けて	交流機会の確保につながるアイデア、事業統合など部会協議で共通理解を図っていきたい。			
③	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	
	目的	地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図るため。		
	実施内容	「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業を実施した。地縁の復活をめざして取り組んできた事業が10年目を迎えたことから記念特集号を発行し、住民への情報発信に努めた。		
	実施時期	平成30年5月～平成31年3月		
	参加人数	718人		
	成果	地域内のまつりは、町内会をはじめ、大殿中OTK(大殿地域に貢献し隊)や大勢のボランティアの皆さんの協力によって継続実施できている。「つながる大殿七夕ちょうちんの灯」事業では子ども歴史学習会を地域交流センターの社会教育事業との共催で企画したが、荒天のため中止となった。八坂神社では、2年越しで「山大生の縁結び企画」が実施され、来場者に好評であった。部会協議を重ね、10年目を迎えた事業を振り返るちょうちん特集号の発行ができた。		
評価	10年目を迎え、地縁の復活をめざし取り組んできた事業の検証と持続可能な運営について協議を深める必要がある。			
今後に向けて	会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れ、見直し協議を深めるとともに、地域のお宝再発見のための協議も進めたい。			